

中津市の防災についての議員研修会



受講の様子



主催者あいさつ



講師による説明

令和5年9月27日(水)、会派会長会の主催により、高知工科大学 総合研究所 インフラサウンド研究室 中津データセンター長の金子光広氏を講師に招き、「中津市の防災についての議員研修会」を開催しました。

研修会では、中津市の地震津波防災対応に関する政策提言などについて説明を受けた後、質疑応答を行いました。

中津市議会では、最重要課題として、今後も防災・減災対策に取り組んでまいります。



市民団体等との意見交換会

中津市議会の各委員会は、それぞれが所管する分野における課題等について、市民団体等との意見交換会を行いました。

教育厚生委員会

令和5年9月19日(火)、中津市役所にて、中津市内の障がい児通所支援事業者の皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換会には、9事業所11名の方にご参加いただき、各事業所における連絡組織づくりなどの現状の課題や、行政・市議会に求めることについての意見交換が行われました。

障がい児通所支援事業に関する意見交換会



移住・定住促進に関する意見交換会



人口減少対策特別委員会

令和5年9月20日(水)、本耶馬溪公民館にて、地域おこし協力隊・移住支援なかつの皆さまと意見交換会を行いました。

当日は、13名の方にご参加いただき、移住・定住促進をテーマに、活発な意見交換が行われました。

第76回大分県民スポーツ大会に参加しました！

○議員ソフトボール

令和5年9月2日(土) 別府市野口原軟式野球場

【一回戦】 19対6で竹田市に勝利

【二回戦】 29対6で大分県議会に敗北



○議員・教委リレー 8位

令和5年9月10日(日)レゾナックドーム大分

[左から]大塚正俊、山影智一、湊野真己、木ノ下素信、大内直樹、中西伸之



ようこそ中津市へ！（視察研修）



広島県東広島市議会（自由討議の取組みについて）

中津市議会では、他議会からの視察研修の受け入れを積極的に行っています。
令和5年度は、「自由討議の取組み」や「6次産業化の取組み」などをテーマに、これまで7議会、延べ54人の視察研修の受け入れを行いました。6次産業推奨品の説明をさせて頂いた際には、視察に来られた皆様から大変ご好評頂き、沢山ご購入頂きました。



広島県尾道市議会（6次産業化の取組みについて）



なかつ6次産業推奨品の説明

大分県市議会議長会議員研修会



令和5年10月2日(月)に、大分市で開催されました。
退任役員表彰式では、中西議員、大塚議員に感謝状が贈られ、その後の研修会では、「ハラメント防止の留意点」や「AIの普及による生活、地方行政への影響と課題」についての研修を受け、知識を深めました。

9月議会 一般質問

- ◆令和5年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



三上 英範
(日本共産党)



- 中津市民の経済状況について
- 豪雨災害の復旧を速やかに
- 重ねてごみ袋は無料に
- 健康保険証廃止は止めるべき
- ・ 補助金不正受給事件の解決

問 中津市民の客観的な経済状況を共有するため、課税状況と国民年金の受給状況について伺います。

答 市民税所得割の納税義務者数は、37,172人でうち200万円以下の方は26,563人(71.5%)です。非課税世帯数は、10,971世帯で全世帯数の26.8%、旧中津8,500世帯(24.4%)、三光757世帯(34.0%)、本耶馬溪560世帯(43.9%)、耶馬溪717世帯(44.0%)、山国437世帯(44.8%)です。また、国民老齢基礎年金の受給権者数は24,325人で、一人当たり662,805円です。

問 7月の豪雨災害の農地関係の災害復旧について、高齢化や繰り返しの被災、分担金の負担、そもそも水田農業は採算が採れないなどのために復旧を断念されるという農家の声が今まで以上にあります。国の財政支援も活用して、復旧に手を挙げるような支援をするべきと考えるが、いかがですか。

答 中津市では、これまでも農家の負担を軽減するために条例を改正してきており、農地等の個人財産については、応分の負担をお願いしています。



川内 八千代
(日本共産党)



- ・ 学校給食費は全員無料に
- ・ 18才まで医療費助成、無料に
- 国民健康保険証、後期高齢者医療証は発行を続けるべき
- 水路整備、修理復旧は公費で

問 小中学生全員を給食費無料にした場合の必要経費は。2024年4月から差別なく全員無料にすべき。

答 国の「こども未来戦略会議」の動きを注視し、市政全般を見据え、適正な判断に努めていきます。

問 18才まで医療費の無料化を求める市民からの請願(署名744筆)も提出されている。市の対応は。

答 令和6年4月から一部自己負担金の徴収を前提に助成対象を18才まで拡充することとしました。

問 国民健康保険証と後期高齢者医療証は発行続けるべき。マイナ保険証は各地で多くのトラブルが発生し、紙の保険証が一番安心だと考える。

答 国の動向を注視しつつ、加入者が今まで通り医療機関を受診できるよう適切に対応していきます。

問 現在農家は収益が見込めない状況。水路整備や修理、復旧の農家負担はできない。公費負担を。

答 水路の災害復旧工事では負担率の改正、整備に対しても原材料支給等で農家負担を軽減しています。



須賀 要子
(市民の会)



- 「ごみ」課題について
- 婚姻の多様性やひとり親支援について
- 元気に長生きできる中津市に

問 ポイ捨てや不法投棄の対策強化すべきでは。

答 不法投棄の取り締まり強化やごみ集積所への適正分別による排出の為に、市民・事業者・行政が一体となり「環境共生都市なかつ」の実現の為、あらゆる機会を活用し、積極的に啓発を行います。

問 外国人相談窓口の設置場所や開始時期は。

答 幅広い支援を行う環境等を考慮し、当初の予定を変更しサンリブ中津店内の設置に向けて、協議をしています。早い時期に開設したいと考えます。

問 性的少数者へのパートナーシップ制度の導入を。

答 LGBTなど性的少数者の方に対する誤解や誤った情報の解消とともに正しく理解をしていただくため普及・啓発活動を地道に行っているところです。パートナーシップ制度の導入については、前向きに取り組んでまいりたいと考えています。

問 高齢者の外出支援に公共施設などの利用割引を。

答 健康寿命延伸の調査研究を行い、公共施設の利用料について議論していきたいと思います。



恒賀 慎太郎
(前 進)



- ・ 転用手続きの制限について
- ・ 中津市土砂条例の要件緩和は
- ・ 旧中津市の害獣対策について

問 本年4月より誰でも農地を買える事となったが、田から畑へ転用申請要件は。又、手続き簡素化は。

答 農地法4条の一時転用申請が必要です。しかし、県の運用見直し通知により、工事着手後、1年以内に耕作が可能で、造成面積30アールを超えない場合は、一時転用申請が不要となりました。

問 中津市土砂条例では500㎡から3,000㎡の埋土、盛土実施時届出が必要だが基準緩和は。

答 農地所有者が宅地に転用する事例の多くが、500㎡未満であり、埋立事業では第三者を介在するケースが多く、土砂等の安全性確保の観点から500㎡以上の基準の緩和は考えておりません。

問 旧中津市の指定有害鳥獣は。又農家の害獣被害に対する相談窓口と対応は。

答 中津市は有害鳥獣としてイノシシ、シカ、アナグマ、アライグマ、タヌキ、サル、カラス、カワウを指定し、市民の通報、相談があれば、林業水産課、各支所農林建設課で駆除等対応します。



荒木 ひろ子
(日本共産党)



- ・ 国保証発行継続の市の方針
- 核兵器廃絶の市の考えと行動
- 学校給食の来年度無料方針
- 元市職員の補助金使い込み、奥塚市長任期内の解決の決意

問 戦争のない核兵器のない世界の実現に向けた、中津市の新しい取組みの強化を。

答 今年度、歴史博物館に加え市民ホールで戦争や原爆の展示を行いました。平和の大切さを次の世代に引き継ぐため様々な取組みを継続します。

問 奥塚市長が国に要望したのは無償化か。奥塚市長は、来年度の学校給食は、無償化の考えか。

答 無償化の実現に向けて検討する国の「こども未来戦略会議」の動きを注視しつつ、市長会を通じた要望等も踏まえ、適正な判断に努めます。

問 使い込まれた963万5千円は、奥塚市長の提案で市民の税金で国県に返還しました。今だ1円の解決も出来ていません。11月16日任期満了の奥塚市長の退職金の減額で市民負担の解消を。

答 これまで取り得る手段はすべて取り、早期解決に向けて全力で取り組んできました。市に損害が出ないように、今後も同様のスタンスで臨みたいと考えています。



木佐貫 佳子
(市民の会)



- どの人もくらしやすい中津市
- 一人ひとりがたいせつにされ安心してすごせる教育環境
- 中山間地域における安心、安全な通学について

問 オストメイト*対応のトイレの数は。

答 市の公共施設では、本庁舎など33施設です。

問 今後、トイレの改修や新設はしないのか。

答 本年度は、多目的トイレ（オストメイト対応トイレ設置）新設工事を4件予算計上しています。

問 小中学校校舎内のインターホン設置状況は。

答 平均すると、小学校では40%、中学校では50%となっています。

問 教室にインターホンをつけられない場合の代替手段をどう考えているのか。

答 他の通信手段も考えていきたいと考えています。様々な方法を考慮しつつ、最適なもので学校内における通信環境の整備を図りたいと考えています。

問 路線バスで通学している子どもたちの交通費を無償にできないか。

答 保護者負担軽減は、これまでも行ってきており、今後も制度のあり方、施策の効果や制度等総合的に勘案し、適正な方法を考えたいと思っています。



千木良 孝之
(市民の会)



- 環境整備について
- ・ ごみのポイ捨て
- ・ 空き家対策の今後の取組み
- 人に優しいまちづくり
- ・ 補聴器購入費助成

問 ごみのポイ捨ては不法投棄である。市民の理解は。

答 不法投棄は、家電製品や廃タイヤなどの大きなごみとの印象がありますが、空き缶やたばこの吸殻、紙くずなど比較的小さいごみも廃棄物の不法投棄となります。規模の大きさに対する認識の違いが生じていることは十分に考えられ、市民の認識にポイ捨ても不法投棄であることの理解を深めていくために、周知・啓発に努めてまいります。

問 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正による効果は。

答 近隣住民からの苦情・相談の多くを占めている、放置すれば特定空家となるおそれのあるものを「管理不全空家」として取り扱い、指導・勧告を行うことが可能となります。勧告に至った空き家は、固定資産税の住宅用地特例が解除されます。管理不全な空き家の除却等の更なる促進が期待でき、周囲に悪影響を及ぼさないうちに空家の有効活用や適切な管理に繋がると考えております。



大塚 正俊
(市民の会)



- 7月豪雨災害を踏まえた対策
- ・ 道路冠水、家屋浸水被害対策
- 街なか居住の促進に向けて
- 新型コロナウイルス感染者状況の公表
- フッ化物洗口の安全確保

問 小祝ポンプ場の排水能力の強化をすべきでは。

答 小祝地区で床下浸水が確認されたので、現場条件に即した排水機能の強化を考えていきます。

問 避難所として使用している地区集会所にテレビが受信できる設備の整備をすべきでは。

答 災害リスクの低い地区集会所であれば、情報収集手段として自主防災組織活動事業費補助金（2/3補助）を使いテレビの購入やテレビが受信できる設備の整備ができるよう支所と調整をしています。

問 間無、新大塚地区でトイレの水が流れなかった原因の解消にむけて、管きょに流入する雨水の漏水防止対策や建築の際の雨水の下水道への接続の有無の確認、敷地内の汚水桝の開放禁止などの周知・徹底が必要では。

答 今後管きょ等の老朽化施設の更新や修繕を計画的に実施し、不明水の減少に繋げていきます。また、雨水の誤接続の現地確認、自宅敷地内の汚水桝の開放禁止の広報や周知をしていきます。

語句の説明

*オストメイトとは、さまざまな病気や事故により、人口肛門（ストーマ）を造設する手術を受けた方のこと。



お ずみ とし こ
小住 利子
(公明党)



- 視覚障がい者のための環境づくり
- 「防げるがん」への対策
- 安心できる子育て環境の整備

問「音声コード」を取り入れ、視覚障がい者の方たちにとって、情報取得がしやすいように、利便性、安心性の拡大をしてはどうか。

答コードの活用で文字情報を音声にできる、デジタル技術の進展を注視しながら、視覚障がい者の利便性やニーズを把握するなど調査研究をしております。

問男性のHPVワクチン*接種への効果と期待は。

答男性へのHPVワクチンは現在、国の審議会ですら定期予防接種として位置付ける事の是非を検討されている段階です。国の状況を注視してまいりたいと考えています。

問「子ども誰でも通園制度」について

答保護者の就労等、保育制度の利用要件に関わらず、利用可能な枠の中で、時間単位で柔軟に通園できる仕組みで、国は令和6年度から制度の本格実施を見据えた事業を実施することとして、現在具体的な制度設計の検討を進めています。



おく むら かず よし
奥村 一義
(前 進)



- 第一次産業振興について
- 観光振興策について
- ・ 歴史と文化の伝承活動について

問ファーマーズスクール*設置に対する取組み状況についてお聞かせください。

答ピーマンのファーマーズスクールを山国町に設置して現在男性1名が研修中です。

問観光の振興策として宿泊者数や観光客を増やすために取っている具体的施策を教えてください。

答ターゲットに合わせた中津の魅力発信、全国各地でのPR出展、海外商談会への参加、「不滅の福澤プロジェクト」「やばはく」事業等を実施しています。

問歴史と文化の伝承活動について具体的にどのような活動をしていますか。

答後継者育成に行政が直接的に関わることは、団体数も多く難しいですが、団体の状況の把握に努め、行事の発表の場の提供など、側面からの支援を考えていきます。

問市内外の人たちへの伝達はどのようにしていますか。

答HPなどで「わかりやすく、必要な人にしっかり届く」広報に努めてまいりたいと考えています。



やま がけ とも かず
山影 智一
(豊の風)



- 東九州新幹線の実現
- 災害に強いまちづくり
- スマート農業・林業・漁業の推進と定住
- 自治体DXと市民サービスの向上

問東九州新幹線のルートについて、大分県は突如、久大本線ルートも検討すると発表。これまで、日豊本線ルートだと思っていたところで、これまでの経過を踏まえば、大分県の発表は遺憾です。市長の認識を伺います。

答本年8月、「新しいおおいた共創会議」の意見交換の場で、日豊本線ルートでの東九州新幹線実現に向けて意見を述べました。①東九州新幹線のルートは、局地的な議論ではなく、九州全体を見据えた視点で考えること②交通インフラにおける九州内の東西格差を是正し、東九州軸を形成することで、九州全体の循環型交通体系を構築すること③新幹線を「観光列車」と考えるのではなく、ビジネス面での発展も含め、経済基盤の強化につなげる④並行在来線（生活の鉄道）の存続を前提条件にすること。これを軸に、今後も引き続き、東九州新幹線を含めた東九州軸の形成に向け、積極的に取り組んでいきます。



さが ら あ す か
相良 亜寿香
(ほんき)



- ごみ有料化の問題について
- ・ ケーブルテレビの加入者の推移と運営状況について

問なぜ45ℓでなく40ℓのごみ袋なのか。

答袋が小さくなることで少なくとも5ℓ分のごみ減量が必要となり、適正分別の推進、温室効果ガス削減に繋がるという議論をもとに、廃棄物減量等推進審議会の意見を踏まえ決定したものです。

問各サイズのごみ袋で一番売れているのは。

答40ℓです。

問生ごみキーロや段ボールコンポスト以外にバッグ型コンポストなどもあるのでアパートやマンションのほうに是非検討してほしい。

答生ごみの減量化に向けて、バック型コンポストも含め様々な方式を検討しております。

問スケジュール管理アプリにごみ収集日を入れられるようにしてほしい。

答ごみ分別チャットボット（自動会話プログラム）から収集区毎のカレンダーを確認することができます。これはGoogleカレンダーを使用しており、その他のスケジュール管理アプリと共有することもできます。

語句の説明

*ファーマーズスクールとは、農業経験のない人でも就農するための技術や知識を身に付けることが可能な研修制度のこと。
*HPVワクチンとは、子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を防ぐワクチンのこと。



ふちの まき
刈野 真己
(前 進)



- 7月の豪雨災害について
 - ・ 今後の復旧の見通しは
 - ・ 被災時のマニュアルの作成を
 - ・ 被災時の仮設住宅の戸数確保や設備の充実を

問 7月の豪雨災害での被害額は。また、復旧に必要な中津市の負担額は。

答 県管理分等も含めた被害総額は89億6千万円で中津市の負担額は約34億円になります。

問 今後の内水排除対策は。

答 強制排水設備及び排水路の機能強化や貯留施設による洪水調整施設設置等での対応を考えています。

問 今後の復旧の見通しは。

答 中津市復旧・復興推進計画に沿って、優先順位を設け順次工事を進めております。また国の補助を伴う事業は、災害査定が9月より始まります。

問 被災した際に何をすべきかのマニュアルの作成と周知を。

答 チラシを作成してホームページへの掲載や配布、支所窓口等への設置を考えております。

問 今回の災害時のケーブルテレビの不具合についての対策は。

答 原因を調査し、対策を行っております。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信
(清流会)



- 住民型有償サービスを利用する人の支援について
- 認知症への取組みについて
- 要望書の対応について
- 最低賃金引き上げへの対応

問 個人情報の取扱いはどのように考えていますか。

答 個人情報の取扱い同意を経て、関係者に必要最小限の個人情報を提供していると承知しています。

問 必要最小限の範囲には、サービス利用状況、家族構成、緊急連絡先は含まれていますか。

答 含まれていると承知しています。

問 中津市を挙げての取組みとするために、条例制定の考えはありませんか。

答 必要に応じて議論をしていきます。

問 書面での要望に対して書面での回答は当然だと思うが、どのように考えているのか。

答 要望書に書面で回答を依頼すると記載があれば、担当課においてできるだけ書面で回答したい。

問 中小事業者への市独自の支援策は。

答 労働生産性を向上させる設備等の導入の際、対象固定資産税の軽減特例を設けており、さらに賃上げ方針を表明した場合は、上乘せ措置を行っております。



ふる え しんいち
古江 信一
(前 進)



- 防災・減災対策について
 - ・ 自主防災組織の強化
 - ・ 道路冠水注意マップの作成
 - ・ 山国川流域自治体連携協定
- 中津市の観光振興について

問 豪雨災害では水路や側溝の冠水による内水氾濫が頻発している。現在のハザードマップでは確認しづらく、現状に則した避難時に活用出来る道路冠水マップを作成してはどうでしょうか。

答 冠水の恐れのある道路情報を市民に対し早く周知し、事前の避難などに役立てて頂くことは大変重要と考えております。今後も防災上の避難行動と連携し市民にとってわかりやすく、安心安全につながる効果的な情報の提供に努めます。

問 山国川を挟んだ自治体は緊急を要する事態が発生した時、最も頼れる存在である。連携した避難訓練や情報交換もスムーズに出来る、上毛町・吉富町との災害時支援協定を結んではどうですか。

答 災害リスクの共通点もあり、連携した対策・支援を進めていく必要があると考えます。今後は、上毛町及び吉富町との定住自立圏に基づく防災連携に取り組むとともに、災害時応援協定の締結についても進めていきたいと思っております。



ほんだ てつや
本田 哲也
(清流会)



- 豪雨災害対策（水産環境版）
 - ・ 中津日田高規格道路の開通で旧下毛の活性化を
 - ・ サイクリングで元気なまちづくり

問 7月豪雨により山国川から流れ込んだ大量の土砂や流木・ごみ類が航路や干潟に堆積、さらに沖合にも流出し、底びき網漁業では一か月以上も出漁できない状態が続いていたが対策は。

答 「ひがた美人」の養殖場については、すぐに国の制度を活用し、漁業者を中心としたごみ撤去作業により干潟堆積ごみ約13トンを処分しました。

航路についてもすぐに状況把握し、測量調査の後、仮浚渫を行い、8月19日には出漁できるようになりました。なお、完全復旧は翌年度の予定です。

問 豪雨災害に関わらず、陸上で回収・処分できなかったごみが最終的に行き着く先は海で、70%は海底に沈んでいると言われている。

環境共生への観点からも漁業操業時に水揚げされる海底ごみの回収を事業化できないか。

答 事業化には海域など考慮する点が多いことから対応は困難ですが、効果的な制度の導入を国や県と連携しながら対応していきます。



みえの たまえ
三重野 玉江
(清流会)



- 自治会(町内会)等のDX推進を
 - ・若い世代に負担にならない連絡ツールの導入や閲覧板のデジタル化の考えは
 - ・デジタルデバイド*の解決策は

問 担い手不足も課題とされる自治会(町内会)に、働き世代を取り込む1つの策としてデジタル化に取り組むなど、新たなコミュニティ活動のあり方に対する支援の考えは。

答 地域活動におけるデジタル化は、これからかなり普及すると思いますので、先進自治体の情報収集を行いながら、機会があればデモ体験等を通じて自治委員の意向確認や希望する自治会の把握に努めてまいります。

問 地域活動のデジタル化は、働き世代が参加するきっかけになるばかりでなく、働き世代のデジタルスキルを活用したデジタルデバイドの解消が期待されるが、中津市の取組み状況、解決策は。

答 デジタル機器の操作方法を学ぶためのスマートフォン講座やパソコン講座を定期的に開催しており、内容も充実させていく予定です。今後も、市民のデジタルデバイス解消に積極的に取り組んでまいります。



おおうち なおき
大内 直樹
(清流会)



- 頻発する豪雨災害等での対応と対策について
 - ・学校や地域の自主防災組織と連携について

問 頻発する豪雨災害により、冠水道路から家や店舗への浸水が頻繁に起こる箇所がある。そのような地域への土のうを常備する場所を作れませんか。

答 台風や豪雨前に土のうを準備される自治区につきましては、シルバー人材センターに必要な数を取りに行っていたいただき、度重なる冠水が起こる自治区によっては、砂と土のう袋の原材料の支給で対応しているところであります。冠水の状況にもよりますので、自治区と相談の上、対応してまいります。

問 災害発生時、危険箇所の現状把握、状況報告などは学校の先生方が現地に行かず、地域の防災をよく知る自主防災組織や校区防災部会、消防団などが学校と連携してできるのではないかと。

答 まだまだ課題も多いが、自主防災組織の訓練や研修会の折に提案していきたいと思っております。学校開校中の周辺の冠水状況の把握についても、防災士の皆様のご負担にならない範囲内で、できないか、理事会等で協議してみたいと思っております。

お詫びと訂正

「なかつ市議会だより 第119号」で、誤りがございました。お詫びして、訂正いたします。
○なかつ市議会だより5ページ 林秀明議員
一般質問 1番目の質問

(誤)

問 事故や先天的な病気等により、重篤な障がい者への、紙おむつの給付を強く希望する。

答 今後、重篤な障がいを持たれた方へ、紙おむつの給付対象の範囲拡大を前向きに考えます。



(正)

問 事故や後天的な病気等により、重篤な障がい者への、紙おむつの給付を強く希望する。

答 今後、重篤な障がいを持たれた方へ、紙おむつの給付対象の範囲拡大を前向きに考えます。

お詫び

令和5年9月8日(金)の、9月議会一般質問初日のインターネット中継について、システムの不具合により、ライブ配信することができませんでした。お詫びいたしますとともに、再発防止に努めます。なお、当日の議会映像については、ホームページ上で閲覧できます。



すみ よしおみ
角 祥臣
(前 進)



- ・防災ライブカメラの増設を
- ・本耶馬溪町青地区の浸水被害
- ・災害避難所での情報源を増す
- ・地域とアクアパークの連携を
- ・小中学校での暑さ指数計対応

問 7月豪雨災害で被災した本耶馬溪町の耶馬溪橋付近に防災カメラを設置してはどうか。

答 避難の判断材料の一つとして定着していることから、計画的な増設を進めていきたいと思っております。

問 具体的なハード面の対策はどのように考え、浸水被害をうけた地元への説明会を開催されては。

答 強制排水施設及び排水路の機能強化等の浸水対策案を検討の上、早い時期に地元への説明を行うよう考えています。

問 避難者にとって、いろいろな情報を得る為には避難所に配置しているテレビを増設されては。

答 ニーズ把握を行い、テレビ等の情報入手手段の充実について各支所と協議してまいります。

問 日韓中親善大会時には沿道に各国の国旗を掲げる等、選手を歓迎し地域住民との交流の取組みは。

答 沿線住民と一体的に取り組むことで歓迎ムード高揚と住民との交流にも繋がります。色々なアイデアを取り入れながら、大会を盛り上げていきたいと思っております。

語句の説明

* デジタルデバイドとは、インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

9月議会で決まった内容

令和5年9月議会は、9月4日から9月29日までの26日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案6件、条例関係議案4件、その他の議案4件、合計14件を可決し、人事案件1件を同意し、報告1件を承認しました。さらに、請願2件を不採択とし、意見書2件のうち1件を原案の通り可決、1件を否決、決議案4件を決議しました。また、閉会中の継続審査となっていた請願2件を採択としました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。) なお、決算議案12件は閉会中の継続審査としました。

補正予算

◆令和5年度中津市一般会計補正予算(第4号)

*本年7月の豪雨災害復旧に係る所要の補正を行うもの。また、こども・子育て支援策として、子ども医療費の助成について、令和6年4月から18歳まで拡充することとし、その準備経費を計上するほか、予防医療の更なる推進を図るため、インフルエンザ予防接種費用の助成を本年10月から18歳まで拡充するもの。

◆令和5年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

◆令和5年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

◆令和5年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆令和5年度中津市水道事業会計補正予算(第1号)

◆令和5年度中津市下水道事業会計補正予算(第1号)

条例

◆中津市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

*感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部改正により、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことに伴い、存置の必要がなくなった同感染症に係る特殊勤務手当の規定を廃止するための条例改正

◆中津市自転車等の駐車秩序に関する条例の一部改正について

*東中津駅駐輪場及び今津駅駐輪場を中津市公共自転車等駐車場に加え、もってこれらの駐輪場を適切に管理するための条例改正

◆中津市火災予防条例の一部改正について

*対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正等に伴い、蓄電池設備及び固体燃料を使用した火気設備の離隔距離に係る基準の見直しを行うための条例改正

◆中津市執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正について

令和5年7月豪雨災害による被災場所の現地調査

産業建設消防委員会の審査に先立ち、令和5年9月21日(木)、令和5年7月豪雨災害による被災場所の現地調査を行いました。今回の調査では、特に甚大な被害を受けた、耶馬溪・山国地域の道路・河川・農地等の計7箇所を巡り、被災場所の現在の状況や、復旧に向けた見通しなどについて確認を行いました。



その他

- ◆市道の路線認定について
* 市道豊団地1号線外4号線の路線認定
- ◆工事請負契約の締結について*3件
 - ・庁整工第2号本庁舎機械棟新築工事
 - ・庁整工第3号本庁舎機械棟機械設備工事
 - ・庁整工第4号本庁舎機械棟電気設備工事
- * 地方自治法第96条第1項第5号の規定に基づき、1億5,000万円以上の工事請負契約の締結に関して議決を求めるもの

報告

- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について
* 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく令和4年度決算に係る健全化判断比率についての報告
- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について
* 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく令和4年度決算に係る資金不足比率についての報告
- ◆専決処分報告について（令和5年度中津市一般会計補正予算（第3号））
- ◆債権放棄の報告について
* 令和4年度に実施した債権放棄について中津市債権管理規則第23条第2項の規定により報告するもの

請願

- ◆小・中学校給食費の無償化を求める請願書
- ◆「学校給食費の無償化と18歳までの医療費無料化」を求める請願書
継続審査となっていた以上2件の請願を採択しました。
- ◆健康保険証の廃止方針の撤回を求める請願
- ◆健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書
以上2件の請願を不採択としました。

人事

- ◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任について

佐藤 博昭 氏（51歳）（中央町2丁目）
さとう ひろあき

*（ ）内の年齢は議案提出時の年齢

意見書

- ◆健康保険証の廃止にあたっては、国民への説明責任を果たし不安を払拭するために万全の対策を行うとともに、マイナ保険証の制度とシステムが安全で、確実なものになることを求める意見書

以上1件の意見書は原案の通り可決し、関係機関へ提出しました。

- ◆健康保険証の廃止をしないよう求める意見書

以上1件の意見書は否決しました。

決議

- ◆豪雨災害からの早期復旧支援、復興支援を求める決議

- ◆議第100号令和5年度中津市一般会計補正予算（第4号）の農地及び農業用施設災害復旧事業費（令和5年7月豪雨関連）について農業者の負担軽減を求める附帯決議

- ◆請願第2号の小・中学校給食費の無償化に当たっては、多額な一般財源が必要なことから、安定財源を確保し、持続可能な行財政運営を行うことを求める附帯決議

- ◆請願第3号の小・中学校給食費の無償化、医療費無料化に当たっては、多額な一般財源が必要なことから、安定財源を確保し、持続可能な行財政運営を行うことを求める附帯決議

以上4件を決議しました。

自由討議

◆災害対応の検証と復旧復興に向けて

- ①現状と7月10日の豪雨災害対応の振り返り
災害対応の在り方（過去の事例も交えながら）
災害復旧支援、復興支援について
- ②議会・議員としての役割
情報収集・共有・発信について
議会BCP（業務継続計画）の策定について



（補足説明者：大内直樹議員）

※本自由討議を経て、決議案が提出されました。

◆健康保険証の今後について

- ①健康保険証のマイナンバーカード化による影響



（補足説明者：川内八千代議員）

以上の2件について自由討議が行われました。

決算審査

令和5年10月3日(火)から6日(金)にかけて、令和4年度中に執行した事業等の決算審査を行いました。



10月3日(火)総務企画環境委員会

総務部、企画市民環境部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項



10月4日(水)産業建設消防委員会

産業経済部、建設部、上下水道部、消防本部及び農業委員会の所管に属する事項



10月5日(木)・6日(金)教育厚生委員会

健康福祉部、教育委員会、市民病院及び小児救急センターの所管に属する事項

令和5年12月議会の開催日程(予定)

11月	28日(火)	本会議「開会・会期・議案上程」	
12月	5日(火)	本会議「代表質問」	
	6日(水)		
	7日(木)	本会議「一般質問」(3日間)	
	11日(月)		
	13日(水)	本会議「議案質疑」	
	14日(木)		産業建設消防委員会
	15日(金)	常任委員会	教育厚生委員会
	18日(月)		総務企画環境委員会
	20日(水)	本会議「自由討議」	
	22日(金)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」	

★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。

ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市 議会中継 よりご覧ください。



生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します

【QRコード】

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

☆あなたも、議会を傍聴してみませんか。

本会議の傍聴は、事前の申し込みがなくてもいつでもできます。また、委員会は委員長の許可を得て、傍聴できます。

一般質問は、議会ホームページのライブ、録画放映、ケーブルテレビの放映、図書館でのDVD貸し出しでご覧いただけます。

本会議の議事録は、議会事務局・図書館でご覧になることができます。また、ホームページ上でも閲覧できます。ご自由にご利用ください。

虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は原則禁止されています。

●お中元

●初盆等のお供え

●暑中見舞い

●お歳暮

●年賀状

●寄附 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

太宰府市民政庁まつりで中津市の観光PRを行いました！



中津市の観光PR



観光パンフレット配布

令和5年9月30日(土)、友好都市協定を結んでいる福岡県太宰府市にて開催された「第37回太宰府市民政庁まつり」に、中津市議会も参加しました。

当日は、多くの来場者で賑わう中、観光パンフレットの配布などを行い、中津市の観光PRを行いました。